



横浜市立恩田小学校 発行 平成 28 年 10 月 31 日

学校だより 11月号



一人ひとりの夢が世界の人々を幸せにする

恩田小学校 副校長 小野 明美

鮮やかな紅葉が目映える季節となり、秋が深まっていくのを感じます。

運動会の際には、たくさんの皆様にご参観いただきまして、誠にありがとうございました。熱いご声援をいただき、子どもたちは練習の成果を思い切り発揮して一人ひとりが輝くとともに、学年や全校の仲間と、そしてご参観いただいた保護者や地域の皆様と一つになって、心のつながりのすばらしさを感じることができたことと思います。

さて、先日「オート ファジー」と呼ばれる仕組みを解明した東京工業大学栄誉教授 大隅良典氏がノーベル医学生理学賞を受賞したことが記憶に新しいところです。大隅氏の研究により解明された「オート ファジー」とは、「細胞が正常な働きを保つため、不要物の除去だけでなく、飢餓状態のときに自らのタンパク質を分解し再利用する仕組み」のことで、この仕組みに異常が起きると多くの病気につながってしまうそうです。この仕組みが多くの病気の将来の治療に役立つため、様々な研究が盛んに行われてきており、有効な薬の開発が大いに期待されています。一人ひとりの体の中で、細胞が正常な働きをするために不要物を除去したり、自らを分解し再利用していく・・・何て素晴らしい仕組みなのでしょう。私たちの体の中には、自らを持続可能にしているためのこんなすごい力が秘められているんですね。

「オート ファジー」を解明した大隅教授の研究の成果が素晴らしいことは言うまでもありませんが、私の心に強く残った言葉がありました。それは、受賞が決まった大隅教授がインタビュー時に話していた「人がやらないことをじっくりと継続して研究してきただけ。」「自分のやっていることを面白いと思うことが重要。」「思ってもみないことの方が楽しく、広がりが生まれる。」という言葉です。それは、この言葉が、11月12日午前中に本校で公開する授業の視点「Education for Sustainable Development」（持続可能な社会を創造していくことを目指す教育）と結び付いていると感じたからです。

今、子どもたちは、自分の考えていることやしていることが、これからの社会のため、未来のために役立つとは思っていないかも知れません。日々の学習の中で、課題を解決していくために一人ひとりが今までに学んできたことや経験してきたことを活かし、考えを出し合ったり実際にやってみたりしながら、互いに認め合い学び合い、学習を積み重ねているところです。このような学習を繰り返していくうちに、子どもたちはそれぞれ面白いな、やってみたいと思う夢を見付けていくことでしょう。夢の実現のためには、きっと苦しいことや辛いこともあるはずですが、最初にもった思いを大切に、夢の実現に向けて継続していくこと、それがやがて喜びや生き甲斐へと変わり、いつかきっと周りの人々の幸せへとつながっていくに違いありません。このように、子どもたち一人ひとりの夢が、近い将来、地域、横浜、ひいては日本、世界の人々を幸せにする持続可能な社会を創造する大きな力となっていくと、私は信じています。

その日のために、今月創立30周年を迎える恩田小学校の私たち教職員は、保護者や地域の皆様、学校に関わる全ての方々と心をつなぎ、子どもたちの夢の実現を目指して日々努めてまいります。皆様方には、今後とも、本校の教育活動へのご理解・ご協力を心よりお願いいたします。